

事業所名

ジャンプ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

10月

1日

法人（事業所）理念	『先生』という立場ではなく、生徒と『友達』にみたいな感覚で、目線を一緒にして交流しています。『友達』だからこそ理解し合える感覚があるのと同じように、上からでもしたからでもなく、子どもと同じ目線に立って問いかけていくことが大事だと思っています。							
支援方針	家庭、学校、その他関係機関と連携をとりながら、安心して過ごせる生活を環境を整え、集団活動への参加を通じてルールや他者とのコミュニケーションなどの社会性を育む。事業所での活動のひとつひとつの活動をSST(ソーシャルスキルトレーニング)として捉え、丁寧に子どもたちと向き合っています。その中でも『ありがとう』『ごめんなさい』が自然に言える人になって欲しいと願って日々活動しています。							
営業時間(通常日)	10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり	なし	送迎場所により送迎有無については応相談
営業時間(学校・園休業日)	9時	0分	18時	0分		あり	なし	送迎場所により送迎有無については応相談
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	定期的な心身の把握として、毎日体温測定を行います。 生活に必要な基本的な生活スキルを獲得できるように、子どもの特性に合わせた支援を行います。						
	運動・感覚	近隣の公園での活動を取り入れ、軽運動を行います。 子どもの発達段階及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるような遊びを行います。(ボール遊び、水遊び、マット運動等)						
	認知・行動	季節の変化への興味など感性形成を構築するため、クッキングや外出を行います。 子どもの発達段階に対応した数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の取得の為、具体的な働きかけ(例：声かけなど)を日常生活の中で行います。						
	言語 コミュニケーション	学習の時間を設け、わからない時はスタッフと一緒に取り組みます。 活動のルールを文字や絵を掲示し、視覚的支援を行います。						
	人間関係 社会性	定期的な面談、相談時間を設け、自尊心を育みます。 遊びを通じて集団で行動する機会、役割分担する機会を設けます。 遊びを通じてルールを理解する機会を設けます。						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての悩み等に対する相談を行います。 家族の生活を考慮し、登所・帰宅の際に送迎を行います。 保護者のニーズに合わせて延長支援を行います。 保護者同士の情報共有・交流を深めていきます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 生活活動範囲獲得のため、外出による支援を行います。 就労に向けた職業体験や訓練を行います。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 統一性のとれた支援を行うため教育・医療・相談支援関係機関等との情報共有を行い連携しています。 地域住民や同年代の子どもとの交流を図り、地域社会への参加を行います。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 常時見守りが必要な障がい児への支援や障がい児の保護者に対する支援方法の指導を行う為基準を上回る数の保育士・児童指導員を配置しています。 定期的な研修を実施しています。外部研修にも参加しています。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 年2回保護者交流会を開催しています。 月1回他事業所(同法人)との合同イベントを開催しています。 							